

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	配慮を必要とする家庭への支援／障害のある子どもの療育体制の充					
(2)	総合計画の体系	第 03 章	健康で安心して暮らせるまちづくり				
		第 01 節	すべての子どもが健やかに育つまちづくり				
		第 32 細節	配慮を必要とする家庭への支援／障害のある子どもの療育体制の充				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		936,394	1,175,719	1,473,178	
		従事職員数		50.04 人	55.10 人	60.10 人	
		所要人件費(B)		402,275	435,290	483,930	
		総事業費(A+B)		1,338,669	1,611,009	1,957,108	
		財源内訳	収入	国庫支出金	385,219	505,590	631,816
				府支出金	193,874	254,751	321,486
				その他	165,866	10,905	11,548
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	593,710			839,763	992,258		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	療育・保育に関する市施設での障がい児受け入れ数(杉の子学園・わかたけ園)各年度末在籍数	目標値 (単位:人)	100.00	110.00	110.00
		実績値 (単位:人)	108.00	112.00	/
		達成度(%)	108.0	101.8	
目標値の積算方法	定数				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

発達に支援を要する児童とその保護者へのより適切な療育を図るため、各機関の連携による療育システムの充実、地域との連携の推進が必要である。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	児童発達支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00320	全部	大	20	18	20	18	10	86	継続
2	地域療育事業	こども発達支援センター地域支援センター	00325	全部	大	20	14	18	18	10	80	拡充
3	相談支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00323	なし	大	18	14	18	16	18	84	継続
4	1歳6か月児健康診査事後指導事業	こども発達支援センター地域支援センター	01571	全部	大	18	20	16	18	14	86	拡充
5	児童福祉サービス給付事業	こども発達支援センター地域支援センター	00321	なし	大	20	18	20	18	10	86	継続
6	通園療育支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00324	全部	大	20	18	20	18	18	94	継続
7	安全対策事業(こども発達支援センター)	こども発達支援センター地域支援センター	00322	全部	中	14	18	14	18	14	78	継続
8	保育所等訪問支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	01427	なし	中	16	12	14	18	14	74	継続
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		児童発達支援事業は、児童福祉法に定める事業であり、利用人員も多く、わかたけ園の移転整備に伴い事業の拡充を要するため上位とした。地域療育事業は法定事業ではないが訓練・相談の需要が多いため次点とした。その他については、療育の推進にあたって、より重要性が高いもの・利用者の多いものを上位とした。										